

サイレントLSDは、正しい取り扱いをすれば従来の弊社メタルLSDに比べると異音の発生が極めて少ないLSDです。しかし、どのような取り扱いをしても絶対に異音が発生しないという製品ではありませんので、この取扱説明書をよくお読みください。

■無音化を実現するためには次の3項目をお守りください。

- 1 LSDオイルは弊社純正のLSDオイルをお使いください。
- 2 標準仕様(45度カム／8～12枚プレート組み)でお使いください。
(機種によって内蔵プレートが8～20枚のものがあり、8(12)枚内蔵タイプのLSDは標準出荷が8(12)枚組となります。)
- 3 組付け直後、市街地20Km程度の慣らし運転をしてください。

慣らし運転は、弊社の一般のメタルLSDと同様に市街地走行300Kmで完了します。慣らし運転終了直後にLSDオイルを交換してください。その後のオイル交換タイミングは、弊社の一般のLSDと同様に実施してください。

■LSDの効きを強くしたい場合は、下記の要領で組替えしてください。ただし、効きを強くするとそれだけ異音の発生確率は高まりますので、その点はご了承願います。また、下記の表は代表例としてクラッチプレート12枚／45度カムのLSDを、クラッチプレート16枚、カム角55度(60度)に組替えたときの効きの強さや騒音の変化を示しています。LSDオイルの種類や、クラッチプレートの内蔵枚数が8枚、20枚などの場合や、カム角がサイレントLSD装備品以外の70度などを使う場合は、ロック性能や騒音が変化することをご承知願います。

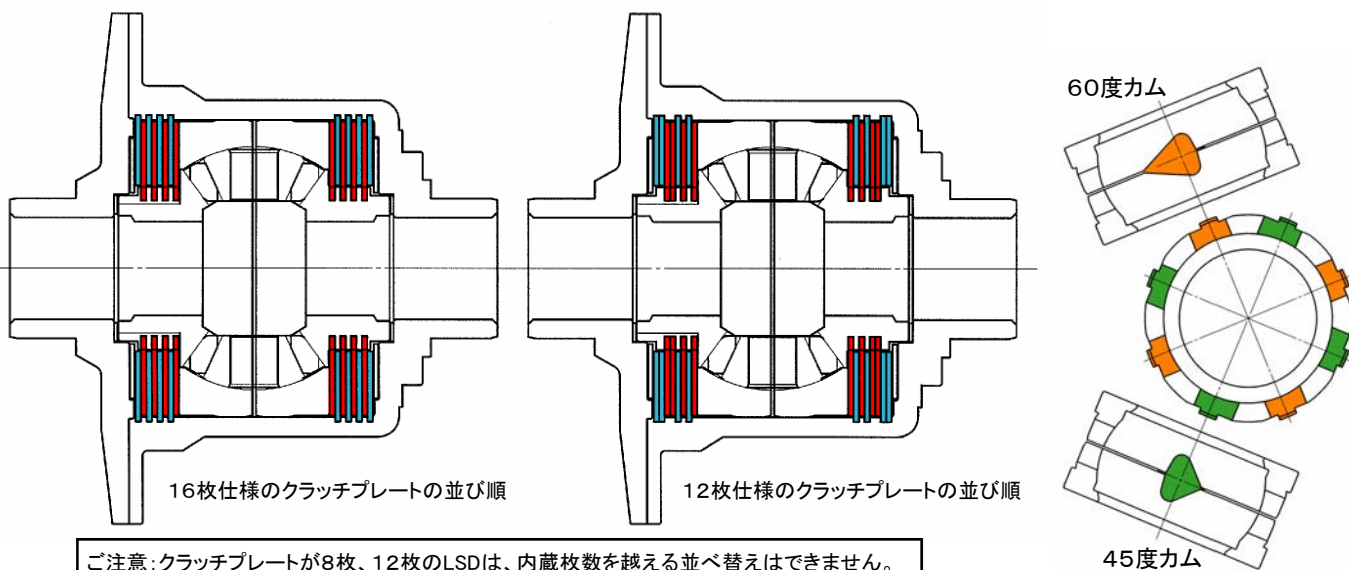
サイレントLSDの仕様と効き具合の関係

		カム角45度(標準仕様)	カム角55度	カム角60度
		全サイレントLSD	φ82／87系LSD	φ95／109系LSD
クラッチプレート8～12枚仕様 (サイレントLSDの標準仕様)	効き強さ	100	140	170
	騒音の発生時間割合	ほぼ0%	市街地走行で約5%	市街地走行で約5%
	用途	通勤・買物・街乗り	走行会	走行会
	ほぼ無音になるまでの最大慣らし距離(Km)	20	300	300
クラッチプレート16～20枚仕様	効き強さ	130	190	230
	騒音の発生時間割合	市街地走行で約3%	市街地走行で約10%	市街地走行で約10%
	用途	通勤・買物・街乗り	レース・競技	レース・競技
	ほぼ無音になるまでの最大慣らし距離(Km)	50	無音は不可能	無音は不可能

効きの強さは、12枚45度カム仕様から16枚、55、60度カムに変えたときの目安を数値化したものです。

騒音の発生割合は、標準仕様のLSDから組替える際の目安としてお考えください。

騒音の発生割合は、車種や道幅・経路・路面状態などによって大きく変化します。



ご注意:クラッチプレートが8枚、12枚のLSDは、内蔵枚数を越える並べ替えはできません。